



白河二中だより

N.O. 36
2025. 1. 10
白河市立白河第二中学校
発行責任者 小野 聰



よろしくお願ひします。

明けましておめでとうございます。令和7年がスタートしました。

今年の干支は、乙巳（きのとみ）です。60年周期の干支の中で42番目に位置し、「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いをもつ年とされています。462名の子ども達が、安心・安定した生活を送れるよう支援を続けたいと思います。始業式では次のような思いを伝えました。（抜粋です）

1年前の冬休みには元日に大きな地震が、二日には羽田空港で飛行機事故が起こるなど、心を強く揺れ動かされる出来事がありました。今年は地震や大きな事故が無くてよかった、と思ってニュースや新聞を見ていると、能登半島地震や記録的豪雨の影響で、仮住まいや避難を余儀なくされている人が、12月末で2万人もいると、報道されていました。

終業式でも、世界には戦争の中で生活している人がいることや生きるために水くみをして学校に行けない同学年の人々がいることを話しましたが、今もまだ、能登半島等で苦しんでいる人がいることに思いを馳せ、今、このように生活できていることに、改めて感謝しながら3学期を迎えるべきだと思います。

さて、冬休み中に年が改まりましたので、新たな目標や思いをもって、一日一日を大切に、学習にも部活動にも全力で取り組んできたことでしょう。実際に、冷たい風が吹きすさぶ寒い冬休み中に、白河二中生が、街中でトレーニングをしている姿を目りました。一人黙々と走る生徒がいたり、父親と一緒に体を鍛えたりしている生徒にも出会いました。このように体を動かし、努力している姿を目にし、本校のスローガン「やらねば何も変わらない」という言葉が浮かんできました。

受験を控えている3年生は、将来の自分の姿を思い描きながら、総まとめに力を注いできたことだと思います。目標があるからこそ、それに向かって自分が何をすべきかを考え具体的な行動を起こすことができます。自ら行動する、これが目標実現の第一歩です。冬休み中に試験があった生徒もありますが、今後も試験が続きますので、今できる精一杯の努力と準備をしていきましょう。

新たな風を！

12月13日（金）に生徒会役員選挙が実施され、新生徒会役員が選出されました。

- | | |
|-------|-------------------|
| ○生徒会長 | 安田 楠央 |
| ○副会長 | 國分 聰太 下田遼太郎 |
| ○書記 | 小田しほり 小島 彩那 本望 博美 |
| ○会計 | 池田 暖 小澤 勇登 |

これまでの伝統を大切にしながらも、新たな風を吹かせてほしいと思います。

今年度も、公正、公平な選挙運動が繰り広げられ、立会演説会でも立候補者が自分の思いをしっかりと伝えることができました。選挙管理委員会のメンバーの確実な運営に感謝したいと思います。

選挙管理委員組織									
○委員長	碓井 康永	山田 濂音	木脇 重	祐旬					
○副委員長	穂積 韶	高橋 真央	代重	新汰					
○委員	村田 淑英	野土谷 友祐	眞田	夏希					
	吉田 悠生	遠藤 伊吹							
	國井 優芽	鈴木 叶夢							
	岡山 銀								

